

第 3 学年	教科名	技術・家庭科【技術分野】	名張市立赤目中学校 2025年
--------	-----	--------------	-----------------

○ 学習のねらい

【D 情報の技術】 ・情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図る。また、それらに係る技能を身に付ける。 ・情報の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深めるとともに，生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力を身に付ける。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。
--

○ 学習の仕方

使用教材	・教科書 ・タブレット端末 ・ワークシート ・LED、ライントレースカー等を使用した実習	もちもの	・教科書 ・学習ファイル（ノート）
学習の進め方	<授業の受け方について> <u>授業の受け方</u> ○技術がもたらす社会での役割について、自分の考えをもって授業に参加する。 ○友だちの発表や意見をしっかりと聞き、自分の考えや共通点見つける。 ○自分の考えを相手に積極的かつ具体的に伝えるように意識する。 ○先生の指示をよく聞き、仲間と協力して活動に取り組むことを意識する。 <u>授業内容の記録</u> ○板書を写すだけでなく、後で振り返りができるように内容を整理する。先生が話した内容や自分で考えたこと等を補足しながらまとめる。 <u>実習の受け方</u> ○安全に作業ができるように、説明をしっかりと聞くことを心がける。 ○作品制作の課題を明確にし、課題解決に向けて、班員全員で協力することを意識する。 ○先生のアドバイスを受けながら、自分の作業効率を上げるための工夫を考える。 ○次の授業のために、清掃活動をしっかりと行う。 <定期テスト> ○ノートや教科書、ハンドノート等を用いて語句を確認する。また、その語句がどのような意味なのかを自分の言葉で説明できるようにしておく。 ○実習で使用するタブレット端末やアプリケーションの使用手順などを確認しておく。 ○提出物は計画的に進めておく。 <家庭学習について> ○生活の中で見かけるテクノロジーに興味を持ち、インターネットなどを活用しながら、知識の幅を広げるよう意識する。		

				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法
1	4	・ガイダンス ・生活や社会と情報の技術	知識・技能 期末テスト		・学習した内容が身についているか ・学習した内容を作業に生かしたか ・基本的な情報端末の使い方を身につけたか ・正確かつ効率よく作業ができたか	・授業観察 ・技能テスト ・ワークシート (授業の振り返り含む) ・定期テストなど
	5	・情報とコンピュータ ・コンピュータの構成				
2	6	・コンピュータによる処理に仕組み ・情報のデジタル化 ・情報の表現と伝達 【実習①】				
	7					
	9	・使いやすさを工夫した情報の表現 ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティと情報モラル	思考・判断・表現 期末テスト		・アプリケーションソフトウェアの特性を生かし、効率よく作業を進められたか ・作品をよりよいものにしようと構想することができたか ・アプリケーションソフトウェアの特性を生かし、自分の工夫やこだわりを作品に取り入れることができたか	・授業観察 ・技能テスト ・ワークシート (授業の振り返り含む) ・定期テストなど
	10	・知的財産の保護と活用				
3	11	・双方向性のあるコンテンツによる問題解決 【実習②】				
	12	・タブレット端末を活用したディスカッション				
	1	・計測・制御による問題解決 【実習③】	主体的に学習に取り組む態度		・目的や意欲を持って学習に取り組めたか ・自分の考えやこだわりをもって課題に取り組めたか ・提出物を期限内に出せたか ・作業の協力、準備や後片付けができたか	・授業観察 ・技能テスト ・ワークシート (授業の振り返り含む)
	2	・プログラムによるLEDやラインとレースカーの制御				
	3					